

関東整備局

建設業 BCP 評価方法を検討

災害時協力で体制確認

関東地方整備局は、建設業者が策定したBCP（業務継続計画）の評価方法を検討する。今後、BCPが各業者に普及した場合に備えるもので、透明性、専門性の観点から、事業継続推進機構による評価・認定なども視野に入れ、評価方法を探る方針だ。「災害時に協力してもらう業者は、信頼できる体制を保有しているかどうかが重要で、各企業のBCPを確認したい」（企画部）としている。

同局の維持業者や協定

を図る観点から、事業継続し、同局が評価基準をつ

会社などを対象に実施し

一方、今後、BCPを

統推進機構とタイアップし、機構にBCPを認

たアンケートでは、「B

策定する業者が増加した

CPを知っていた」は35

場合、災害時協力におけ

%程度にとどまってお

る信頼性を確認する意味

り、「策定している」と

で、BCPの評価が重要

答えた6%の業者も、大

になると同局は考えてい

半が大手建設業で、BC

る。

Pの普及が当面の課題と

しかし、開示できない

なっている。こうした状

会社の個別情報も盛り込

況を踏まえ、同局は事業

まれているBCPをいか

継続簡易ガイドを策定

に確認し、評価するかが

し、建設業者にBCPの

課題になるとし、透明性

定してもらう方法なども
考えられるという。

評価方法の検討は、同
局が、25日に簡易公募型
プロポーザルで公告する
「BCP普及・評価方策
等検討業務」で具体化す
る方針だ。